
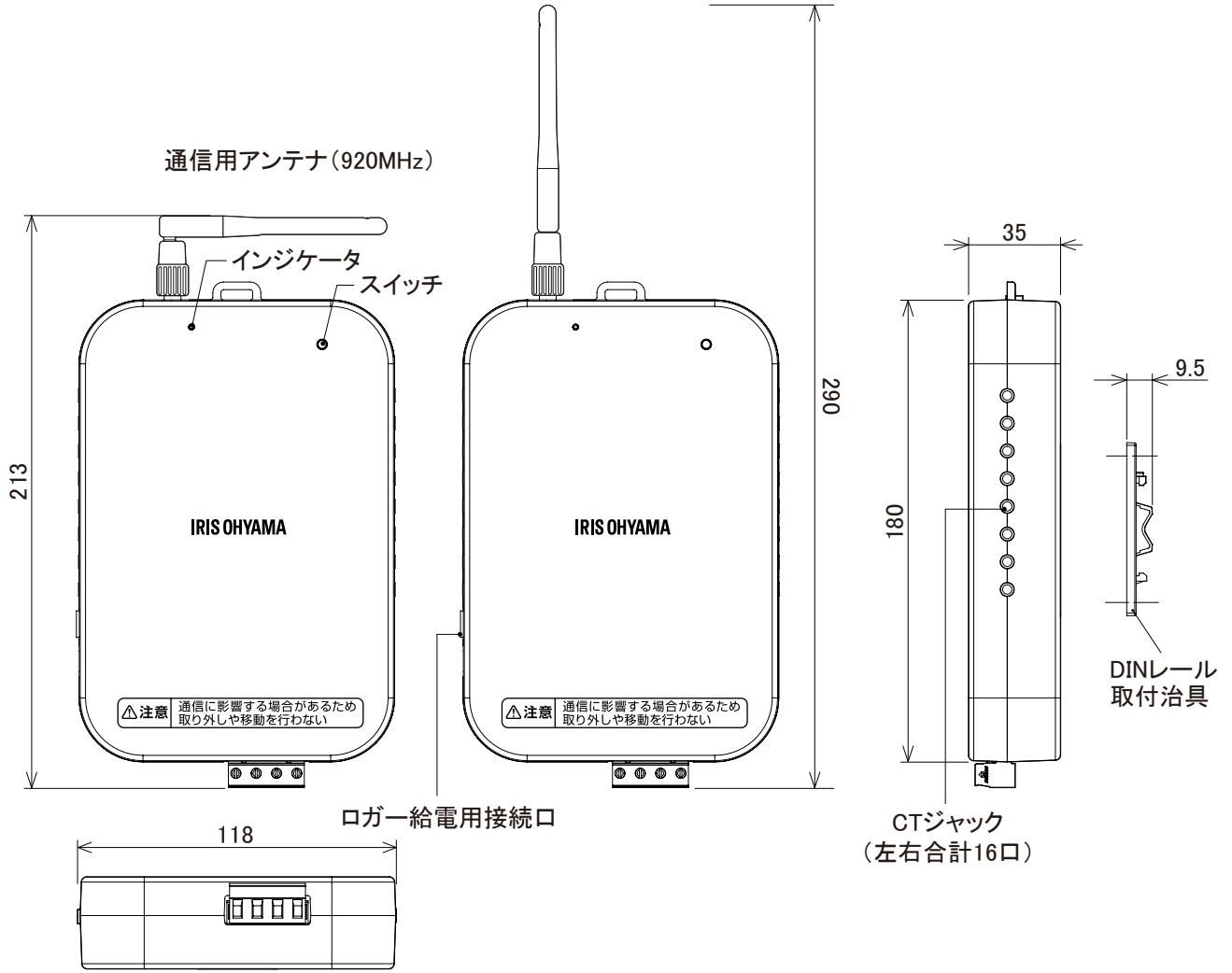


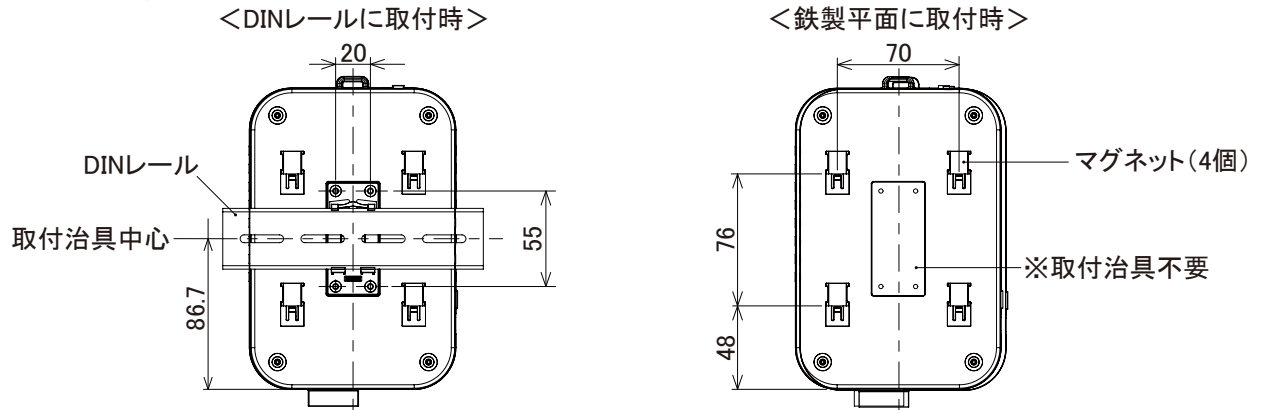
品名	品番	数量
電力モニタセット	IREM-BAGA	1セット
電力モニタ(ロガー)	IREM-BA	1台
通信中継器(ゲートウェイ)	IREM-GA	1台

品名	電力モニタセット	作成	検図	承認	変更日
品番	IREM-BAGA	橋崎	尾形	星野	作成日 2025年 2月 5日
					 アイリスオーヤマ株式会社

■ 外観図



● 取付寸法

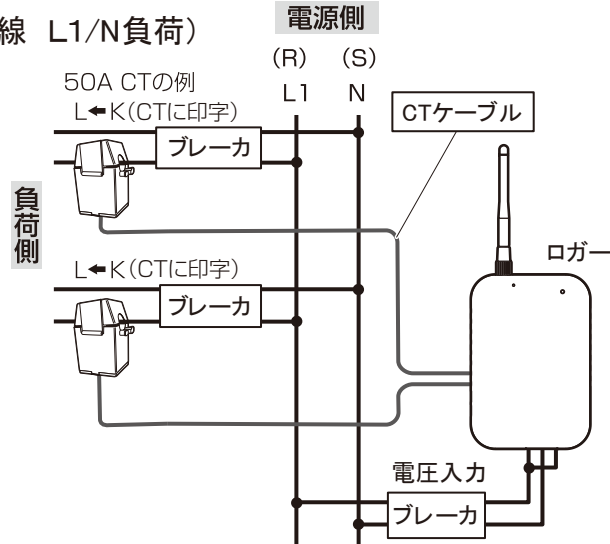


■ 仕様

対応配線方式	単相2線、単相3線、 三相3線、三相4線	測定電流 (CT)	50A、100A、250A、400A、600A	製品質量	約276g(アンテナ、DINジグ、磁石含む)
		精度	±2%	設置方法	DINレール/マグネット
測定項目・測定値	電圧実効値、電流実効値、 有効電力	測定回路数	最大8回路 (単相2線の場合は最大16回路)	付属品	DINレール取付治具、 電源コネクタ、 アンテナ(1本)、 DINレール取付治具用 ネジ(4本)
定格入力電圧(周波数)	AC100~242V (50/60Hz)	製品外形寸法	W118mm×D35mm×H180mm (アンテナ除く)		
品名	電力モニター(ロガー)	作成	検図	承認	変更日
品番	IREM-BA	橋崎	尾形	星野	作成日 2025年 2月 5日
					アイリスオーヤマ株式会社

■ 接続図

(例: 電圧入力/単相2線 L1/N負荷)



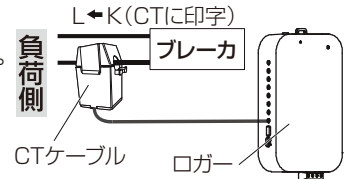
安全上のご注意



- 安全確保のため、電源を遮断し、手袋を着用する。
 - ・電源を遮断しないで作業した場合、感電・短絡事故の原因になります。
 - ・作業の際は、必ず手袋を着用してください。けがの原因になります。

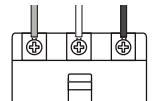
●CTケーブルをブレーカとロガーに接続する時。

- ・設置ツールの内容に従って、測定したいブレーカにCTケーブルをクランプする。
- ・ロガー側面のジャックに差し込む。
- ※CTケーブルをクランプするときは該当するブレーカの電源を遮断して作業してください。
- ※CTケーブルをクランプするときはカチッと音が鳴るまで確実に挟み込んでください。
- ※CTケーブルに記載の「←」が負荷側に向くようにクランプしてください。
- ※ケーブルの配線が盤内でブレーカや金属部分に接触しないように束ねたり括りつけたりして固定してください。
- ※R相とT相のCTケーブル定格は同じものを使用してください。
- ※単相2線式200Vの場合は、CTケーブルは必ずL1(R)側にクランプしてください。



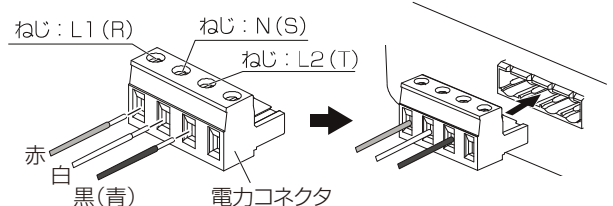
●電源線をブレーカに接続する時。

- ・盤の空きブレーカもしくは電力を測定したいブレーカに電源線を接続する。
- ・空きブレーカが無い場合は簡易ブレーカを設置してください。
- ・活線挿抜はしないでください。



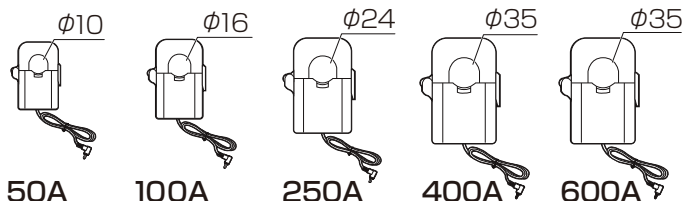
●電源線をロガーに接続する時。

- ・被ふくを10mm剥く。(線種Φ1.6mm単芯線)
- ・電源コネクタのネジをマイナスドライバーの先などで緩める。
- ・電源線をL1(R)→N(S)→L2(T)の順に奥まで確実に差し込み、再度ネジを締める。
- ・電源コネクタをロガーに接続する。



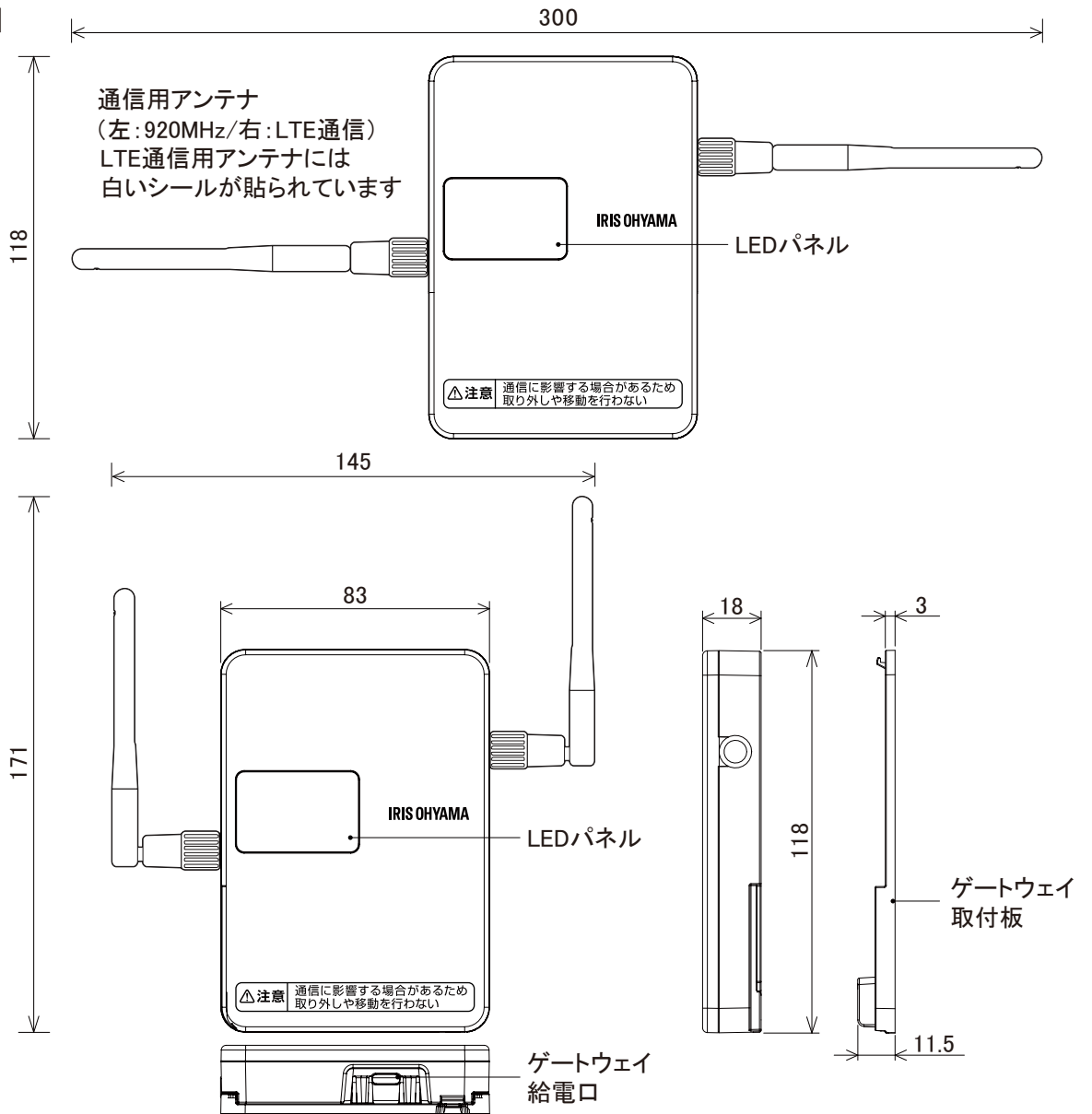
■ CTケーブル(5タイプ: 50A/100A/250A/400A/600A)

- ・サービス契約内容により同梱されるCTケーブルや機器の台数が異なります。施工時に使用しなかったCTケーブルは大切に保管してください。全てのタイプのCTケーブルが同梱されていない場合があります。



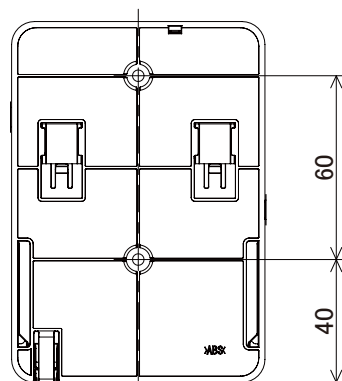
品名	電力モニタ(ロガー)	作成	検図	承認	変更日
品番	IREM-BA	橋崎	尾形	星野	作成日 2025年 2月 5日
					アイリスオーヤマ株式会社

■ 外観図

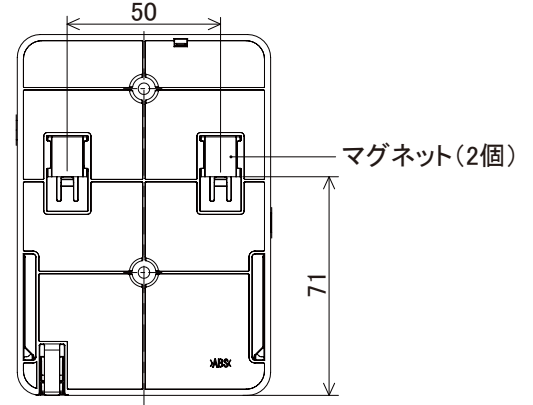


● 取付寸法


<木質平面に取付時>



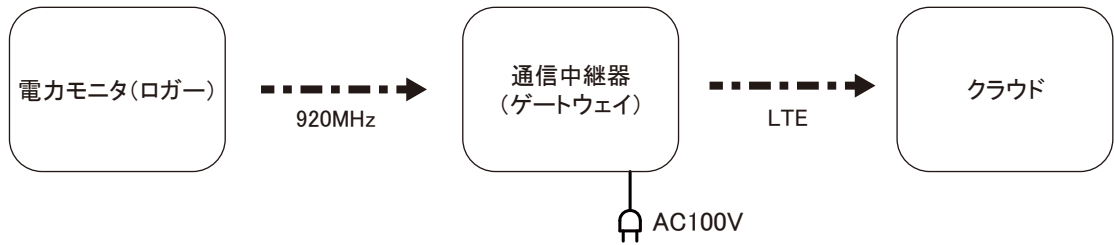
<鉄製平面に取付時>



■ 仕様

通信	920MHz/LTE	製品外形寸法 W83mm×D21mm×H118mm (アンテナ除く)	付属品 通信用アンテナ(2本)、 給電用Type-Cケーブル、 給電用ACアダプタ、 ゲートウェイ取付板、 ゲートウェイ取付板用 ネジ(2本)		
給電	USB Type-C/ACアダプタ				
消費電力	1W				
ロガー接続台数	最大4台				
品名	通信中継器(ゲートウェイ)	作成	検図	承認	変更日
品番	IREM-GA	橋崎	尾形	星野	作成日 2025年 2月 5日
					 アイリスオーヤマ株式会社

■ 接続図



安全上のご注意

警告

【ロガー、ゲートウェイ共通】

- ・施工は設置手順書に従い確実に行う。施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令に従い作業してください。施工が正しくないと落下・感電・火災の原因になります。
- ・取り付け及び保守・点検作業の際は必ず電源を切る。通電した状態で取り付け工事などを行うと、感電・破損の原因になります。
- ・本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。
- ・分解や改造はしないでください。本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。
- ・本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。
- ・雨水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けしないでください。水滴や湿気により絶縁不良になり、漏電・感電の原因になります。

【ロガー】

- ・別売の簡易ブレーカを設置する。守らないと、感電の原因になります。
- ・1次電流通電中はCTケーブル2次側を開放しないでください。感電やCTケーブル故障の原因になります。
- ・分電盤に設置し配線後、電源コネクタを接続する。

注意

【ロガー、ゲートウェイ共通】

- ・以下の場所に取り付けしないでください。落下・感電・火災による破損やけがが発生のおそれがあります。



- ・必ず本製品の重さに耐えられる強度がある、平らな天井面、棚板下部、壁に取り付けてください。
- ・本製品の性能と寿命を確保するため、設置場所は十分検討のうえ決定してください。

【ロガー】

- ・盤組込時などにライン～大地間の絶縁抵抗測定を行う時には本機に接続している線を外してください。守らないと故障の原因になります。
- ・計測電流端子への配線には、ブレーカなどの配線保護機器を設置する。守らないと電気事故の原因になります。
- ・240Vを超える電圧回路を計測はしないでください。発熱・発火の原因になります。
- ・インバーターの2次側回路では使用しないでください。発熱・故障の原因になります。
- ・充電部間は、絶縁抵抗試験をしないでください。故障の原因になります。
- ・ロガー側面の給電端子にはIRIS製電力モニタ用ゲートウェイ(IREM-GA)以外は接続しないでください。機器故障の原因になります。

【ゲートウェイ】

- ・電源は定格電圧・定格周波数で使用してください。本製品は日本国内のAC100V(電圧変動±6%以内)、周波数50/60Hz専用です。

品名	通信中継器(ゲートウェイ)	作成	検図	承認	変更日
		橋崎	尾形	星野	作成日 2025年 2月 5日
品番	IREM-GA				